

厚沢部町『子どもに読んでほしい・友達に読んでほしいこの1冊』50選

【お問い合わせ先】
厚沢部町図書館(月曜日休館)
北海道檜山郡厚沢部町新町234-1
☎0139-64-3436

町内の皆様からアンケートで寄せられた「小学生・中学生に読んでほしい1冊」をおすすめ・好きなポイントとともにご紹介します！加えて、図書館からのおすすめ本も本のあらすじとともにご紹介しています。普段の読書や、冬休みなどの長期休暇の読書の本選びなどに活用してくださいね♪

【本を読んだ後の気持ち】

👍たのしい 📌ためになる 🤔かなしい ★ふしぎ ❤️かんどう 🧸こわい

◆図書館所蔵本

読書感想文におすすめ！

課題図書

青少年読書漢文全国コンクールの課題に選ばれた本です。

道選定図書

北海道青少年のための200冊に選ばれた本です。

まんがで！にゃんこ大戦争（小学館）
萬谷不死身之介 作 PONOS株式会社 監修
ロールケーキを4等分にするとき、勇者ねこが仲間を切る場所がおすすめ。ネコバスタブが湯船に入って、次に温泉に入っている場所が好きです。（2年・男）👍

ノラネコぐんだんシリーズ（白泉社）
工藤ノリコ 作
ネコがイタズラをしている時がかわいいところ。好きなところは、毎回ネコ達が反省させられること。（5年・女）👍

青いあいつがやってきた！？（文研出版）◆
松井ラフ 作 大野八生 絵
おすすめは青いやつがやってくるところ。好きなところは、青いやつがサンドイッチを食べるところ。（4年・男）★

あつかったらぬげばいい（白泉社）
ヨシタケシンスケ 作◆
いやなことがあっても、その時どうすればよいか書かれている。本の内容が好き。（4年・女）📌

石けんのひみつ（学研プラス）◆
宮原美香 漫画
オフィス・イディオム 編集
ためになることがたくさん書かれているから。好きなところは、みんなで見学に行くところ。（6年・男）📌

バムとケロ（文溪堂）◆
島田ゆか 作
バムがしっかりしてて、ちゃんとしている所がおもしろいです。ケロがいろいろな所で遊んでいてかわいいです。（5年・男）👍

有毒動物のひみつ（学研プラス）
大野正男 監修 木村研 漫画
有毒動物の名前や毒の強さがわかるところです。毒腺からきばまでの絵があるところが好きです。（4年・男）★

うんこ！（文溪堂）
サトシン 作 西村敏雄 絵
うんこがぺたぺた歩くところです。好きなところは、色々な動物がうんこのことを「くさい」と思っているところです。（3年・男）📌

さくら猫と生きる（ポプラ社）
今西乃子 作 浜田一男 写真
野良猫が今、どうなっているか分かる。好きなところは、ねこがたくさんいる。とにかく。（6年・女）📌

はたらく細胞（講談社）
清水茜 作
体のしくみや細胞のことがよくわかる。好きなところは、わかりやすいところ。（4年・女）📌

ジャリおじさん（福音館書店）
大竹伸朗 作
おすすめは主人公のジャリおじさんが出会う風景、人々、いきもの。多様なコミュニケーション。「神さま」「もう一人の自分」と出会うところ。稚拙な絵に見えるかもしれないが、どこか哲学的な気がする。（40代・女）★

このあとどうしちゃう（ブロンズ新社）◆
ヨシタケシンスケ 作
おじいちゃんの発想力がすごいです！おじいちゃんグッズ紹介のページに載っている映画「The Life Of Grandpa」のチラシ。誰もが主人公です。（50代・男）👍

どうぶつのからだ どうぶつの目（偕成社）
増井光子 監修
目のほかに鼻・口・耳・手と足・しっぽもあります。それぞれの動物の暮らしに合った体のつくりになっている事が大きな写真と文で学ぶことができます。生活している場所や食べ物によって体のつくりが違う事を知る事ができ、動物好きならおもしろいと思います。（40代・女）📌

あつかったらぬげばいい（白泉社）◆
ヨシタケシンスケ 作
「ふとっちゃたら」「だれもわかってくれなかったら」考えてみるととてもおもしろいです。「あつくて食べられなかったら→みんなでフーフーすればいい」助けてもらえば良い！のか！！なるほど！！でした。（30代・女）👍

いちにちじごく（PHP研究所）
ふくべあきひろ 作◆
いろいろなじごくがあるところ。いろいろなじごくを体験するところ。（4年・男）👍🧸

神様のカルテ（小学館）◆
夏川草介 作
安曇さんにカステラを渡すところ。学士を見送るところ。（6年・女）❤️📌

やばい日本史（ダイヤモンド社）◆
本郷和人 監修 滝乃みわこ 編集 和田ラチオ 横山 了ー 絵
歴史上の人物のすごい所とやばい所が書いてあります。〇〇な所はすごいのに...〇〇な所はやばいのがおもしろいです。（4年・女）👍📌

もりのこびとたち（福音館書店）◆
エルサ・ベスコフ 作 おおつかゆうそう 訳
きのこのぼうしに松かさのよろい。小人に子どもが蟻と戦ったり、ドキドキワクワクします。もりのふくろう学校が素敵でおもしろいので、通ってみたいです。（40代・女）👍

ノラネコぐんだんパンこうじょう（白泉社）
工藤ノリコ 作
ノラネコぐんだんがパンを作っているシーンがおもしろいです。「全部入れちゃえ！」「ドバッ！」適当が1番です。大きすぎるパンが出来上がり、最後までがんばって売る羽目になるのがまた良いです。（50代・男）👍

ぼくはアフリカにすむキリンといいます（偕成社）
岩佐めぐみ 作
お互いを知らないペンギンとキリンが文通しながらお互いを知り仲良くなります。手紙の内容と絵がかわいくていやされます。ペンギンのまねをするキリンがとってもかわいいです。（40代・女）👍

モモ/時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にかえしてくれた女の子のふしぎな物語（岩波書店）◆
ミヒヤエル・エンデ 作 大島かおり 訳
時間どろぼうたちのするがしこい作戦にどう立ち向かう？とドキドキします。モモに話を聞いてもらおうと、どうして悩みが解決するのかふしぎです。（30代・女）★

迷宮教室（集英社）
あいはらしゅう 肘原えるぼ 作
恐怖の教室からみんなで出るということ。がんばって学校から出るところ。（5年・男）❤️🧸★

ねこねこ日本史（実業之日本社）
そにしけんじ 作
マンガで日本史がわかる所です。狩野永徳が秀吉に気に入られるところ。（5年・男）👍📌

チョコレートのひみつ（学研プラス）
ウェルテ 構成
春野まこと 漫画◆
コアラのマーチの47都道府県の絵柄がついています。ママに手作りのガトーショコラをわたしている所。（3年・男）👍📌

野菜と栄養素キャラクター図鑑 （日本図書センター）◆ 田中明 蒲池桂子 監修 いとうみつる 絵 イラストが面白い。（4年・男）👉🖋	なぜ？の図鑑 科学マジック （学研）◆ 藤嶋昭 監修 「なぜ？ふしぎ」と思う本です。手に穴があいて見えるところ です。（1年・女）👉★	ネコのタクシー（福音館書店） 南部和也 作 さとうあや 絵 おじいさんがネコを飼わないと思ったけど、飼ったところ。お金を稼ぐところ。（2年・男）👉★	はだしのゲン（汐文社）◆ 中沢啓治 作 原子爆弾が落とされた。ゲンの弟、進二がかわいい。（4年・男）😞❤
あなふさぎのジグモンタ（ひさかたチャイルド）◆ とみながまい 作 たかおゆうこ 絵 ジグモのジグモンタは「あなふさぎや」。洋服にあいてしまった穴をふさぐ仕事です。でもこのごろは、みんなすぐに新しいものをほしがり....。	そのときがくるくる（文研出版）◆ すずきみえ 作 くすはら順子 絵 みんな、きれいな食べ物があるよね。おじいちゃんは「今はきれいでも、いつかおいしく食べられるときがくるさ」っていうけど、ほんとかな？	みずをくむプリンセス（さ・え・ら書房）◆ スーザン・ヴァーデ 作 ピーター・H・レイノルズ 絵 さくまゆみこ 訳 あさはやくおきて、ずっととおくまで、今日もわたしは、水をくみにいく。アフリカの水くみをする少女の1日をえがいた絵本です。	どこからきたの？おべんとう（金の星社）◆ 鈴木まもる 作 みんなの愛情、い〜っぱいつまってる！おいしいおべんとうの中身は、どこから来て、どうやって食べられるようになったの？わかるかな？
わたしたちのカメムシずかん：やっかいなものが宝ものになった話（福音館書店）◆ 鈴木海花 作 はたこうしろう 絵 くさい虫、カメムシ。みんなで学校のまわりを探してみたら、35種類も見つかった。宝石みたいなカメムシもいたよ。どんな図鑑ができるかな？	ゆりの木荘の子どもたち（講談社）◆ 富安陽子 作 佐竹美保 絵 77年前の「あの子」との約束をはたすため...。突然、子供になってしまったゆりの木荘のおばあさんたちの時を超えたファンタジー。	ぼくのあいぼうはカモノハシ（徳間書店）◆ ミヒヤエル・エングラー 作 はたさわゆうこ 訳 杉原知子 絵 ドイツにすむ男の子ルフスは、動物園からにげだしたカモノハシにたのまれ、オーストラリアに帰るのを手伝うことに...！ゆかいな冒険物語。	カラスのいいぶん：人と生きることをえらんだ鳥（童心社） 嶋田泰子 作 岡本順 絵◆ カラスには、毎日の時間割があるって知ってますか？遊びを発明したり、子育てをがんばったり...知れば知るほど、カラスっておもしろい！
エカシの森と子馬のポンコ（ポプラ社）◆ 加藤多一 作 大野八生 絵 子馬のポンコは長老の木・エカシと不思議なカメムシたちと森で暮らしている。季節の移ろいとやがて大人になるポンコをみずみずしく描く。	サンドイッチクラブ（岩波書店）◆ 長江優子 作 珠子はダブル塾通いの小学6年。そこで別の学校の成績優秀なヒカルと出会う。性格や生活環境も違う2人が互いを認め成長していく。	おいで、アラスカ！（フレーベル館）◆ アンナ・ウォルツ 作 野坂悦子 訳 転校生のスフェンはパーケルをからかうイヤな男の子。けれど、昔飼っていた大好きなアラスカがスフェンの介助犬だと知ったパーケルは...。	オランウータンに会いたい（あかね書房）◆ 久世濃子 作 いまだ謎に満ちたオランウータンの生態。食生活、子育て、不思議な習慣、驚きの進化...。さあ、未知の世界をのぞいてみよう！
with you ウイズ・ユー （くもん出版）◆ 浜野京子 作 母の介護に携わる「ヤングケアラー」の少女・朱音に恋をした中学生の悠人の物語を通して、「誰かを大切に思うこと」を描く。	アーニャは、きっと来る（評論社）◆ マイケル・モーパーゴ 作 佐藤見果夢 訳 第二次世界大戦中のフランスの村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもの亡命を助けることになって...命の尊さをうたいあげる物語。	牧野富太郎：日本植物学の父（汐文社）◆ 清水洋美 作 里見和彦 絵 学歴はなくても、誰にも負けない情熱がある！日本全国の野山を駆け巡り、数多くの新種を発見・命名をした牧野富太郎の人生を描きます。	水を縫う（集英社）◆ 寺地はるな 作 刺繍が好きな高校生の清澄が、かわいいいものが苦手な姉の水青のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言して...。清々しい家族小説。
兄の名は、ジェシカ（あすなろ書房） ジョン・ボイン 作◆ 原田勝 訳 ぼくのヒーローは4歳上の兄だ。その兄が告白した。自分は「トランスジェンダー」だと！LGBTの若者の思いをさわやかに描いた物語。	科学者になりたい君へ（河出書房新社）◆ 佐藤勝彦 作 宇宙の果て、生命の謎、コンピュータ...サイエンスに関心を抱き、研究職を目指す人へ、日本の科学研究を牽引した著者がその扉を開く。	かしたつもり×もらったつもり（くもん出版）◆ かさいまり 作 北村裕花 絵 聞き間違いからはじまる親友同士の男の子のけんかと仲直りのおはなし。2人の小さな心のゆれが子ども達の共感をよびます。	氷上カーニバル（のら書店）◆ あべ弘土 作 冬のおまつりの札幌“雪まつり”がはじまる以前におこなわれていた“氷上カーニバル”。実際にあったおまつりの当時の楽しい様子と記憶を描いた絵本。
世界遺産知床の自然と人とヒグマの暮らし（少年写真新聞社）◆ 伊藤かおり 文 伊藤彰浩 写真 人前に姿を現し観光客を喜ばせている反面、地元の住人を不安にさせている知床のヒグマ。起きている様々な問題から、ヒグマと人との共生を考える写真絵本。	A I ロボット、ひと月貸します！（岩崎書店）◆ 木内南緒 作 丸山ゆき 絵 未来研究所が1か月限定で貸してくれた、ぼくそっくりのA I ロボットのエイト。初めは便利だなと思っていた栄太だったけど、その内人間にとってかわるのでは？と疑いを持つように。A I ロボットと人との通じ合いを描く物語。	君の声がききたくて（文研出版）◆ オーウェン・コルファー 作 P・J・リンチ 絵 深い傷を負い、ほえることができなかった子犬と、声を出すことをやめた少年との心のふれあいと絆の物語。「相手を思いやる」ことの素晴らしさを伝えます。	ドーナツの歩道橋（ポプラ社）◆ 升井純子 作 麦菜はパン屋を営む両親と弟、祖母と暮らす高校1年生。介護が必要な祖母をめぐって、家族はぎすぎすし...そんな麦菜を高校の友達は見守ってくれている。